



すぎのこ 6月号

<http://www.shokei-gakuen.ac.jp/kids/>



第3号

平成30年5月25日
幼保連携型認定こども園
尚綱大学短期大学部
附属こども園

ゴールデンウィークで始まったからでしょうか。5月はあっという間に過ぎた気がします。おかげさまで、子どもたちは、こども園での生活に随分慣れてきたような気がします。クラス替えがあった四月は前に同じクラスだった友達と遊ぶことが多かったけれど、5月に入ってからは同じクラスの友達と一緒に行動することが多くなったと担任の先生たちから報告もあります。暑くなると子どもたちの遊びもだんだんダイナミックになってくるようです。職員たちは子どもたちの楽しく活動する姿を想像しながら、毎日、環境づくりに頭や身体(?)ひねっています。今年は例年になく、蒸し暑くなるのも早かった気がします。子どもたちの体調管理をよろしくお願いします。



自然に働きかける子どもたち

～ 本年度の重点目標について その2 ～

ご存知のように本園は大変自然に恵まれています。短期大学のキャンパスやそれに付随する旧園舎の森など、木苺等が自生している野性味あふれる自然を自由に活用できるのですから大変ありがたいことだと思います。

ITが溢れ、バーチャルリアリティーの世界が益々広がっていきこうとする現代社会の中で、自分の五感を使っての体験活動は改めて重視されています。この体験活動をそれぞれの発達段階に合わせて経験していくことが、子どもたちの心身のバランスを整え、最終的には自立や社会参加につながっていくのです。

特に、就学前の子どもたちは、葉っぱ一枚や石一つでも何時間も遊ぶことができます。アリの動きや虫の幼虫を飽きず眺め、宝物のようにしています。木漏れ日の森の中や広々とした芝生の中で過ごすとき、理由はわからなくてもその心地よさや解放感を感じ取ることができます。

こども園では、環境会議というものを二週に1回開いて、年間計画に沿いながらも現在の子どもたちの状況を把握したうえで、どのような形で子どもたちにこの自然環境と触れ合わせるかを安全性とともに確認しています。

また、担任たちは、子どもたちが周りの自然や環境と触れ合うとき、子ども同士がどのように関わっているか、どのような言葉を発してい

るかななどを見ながら、励ましたり、ほめたりして子どもたちの自尊心や自己肯定感を高めていきます。そして、年齢が上がっていくにしたがい、友達と協力して活動して達成感が味わえるような活動や環境をこども園の自然を利用しながら計画しているところです。

尚綱学園に三代以上学んだご家庭に

感謝状の贈呈

5月13日(日)の母の日に尚綱学園の九品寺キャンパスでは、創立130周年記念行事として卒業生などを招いて「女性の品格」の著者、板東眞理子氏による講演会などが行われました。それに先立ち、親子三代以上にわたって尚綱学園(幼、中、高、短大、大)に学んだご家族への感謝状渡しと座談会が行われました。こども園でも調査させていただきましたが、本園では四家族をご確認させていただきました。

以下ご紹介いたします。

- りんご組 江渕真央さんとお母様 美里様
お祖母様 海津照美様
- ゆり組 島田諒太さんとお母様 麻子様
お祖母様 牧久美子様
- ゆり組 浦上誠さんとお母様浦上文子様
お祖母様 江藤玲子様
- ほし組 寺本健人さんとお母様 峰子様
お祖母様 寺本久美子様 早川きよみ様
曾祖母様 早川トク様

永年にわたり、ご家族で「尚綱の教育」に関わっていただいておりますことに心よりありがたく存じますとともにその使命と責任の重さを職員一同感じております。

それぞれのクラスで在園児に感謝状を渡しました。もらう方も見ている方も何のことか今一つ分からず、ポカンとしていて可愛らしかったです。

この価値の素晴らしさが分かるのはもっと先の方です。

